



わくわくするようなICT/プログラミング体験を！

AR 拡張現実を活用したプログラミング教材 Ai.R Cord (エーアイアールコード)

<https://air-cord.jp/>

◆ サービス・ソリューション概要

カメラの現実の光景に架空の動物やロボットなどを重ねて映し出す「拡張現実（AR）」の技術を使っています。単に映し出すだけでなく、AR上の動物やロボット等に「前に進んで90度曲がる」等のプログラミングによる指示ができます。（特許取得）Ai.R(AI+AR)に、プログラムのCodeではなく、「つながる」という意味のCordを組み合わせた造語です。プログラムでこんなことができる！というモデルとなり、プログラミングに興味を持ちクリエイティブな子どもになってほしい。と願っています。

◆ わくわくする体験を

AR(拡張現実)により、現実に近い・超える体験が得られ、子どもたちに驚きと感動を与えます。何も無いはずの空間に飛び出すキャラクターや動物。子どもたちの感性を刺激する仕掛けが盛りだくさん。AR技術を使って「わくわく」するプログラミング体験を実現します。

▼実際に授業を行った際の生徒の感想

- ・プログラムでイルカやキリンに指示して動かすととても楽しかった。
- ・マーカーを動かし、いろんな方向から見る事ができてわかりやすかった。
- ・机の上に月が出てきて、月の満ち欠けを体験することができた。

わくわくする体験を

AR(拡張現実)により、現実に近いまたは超える体験が得られ、児童生徒に驚きと感動を与えます。



◆ 学年を横断し、教科に沿った内容

特定の教科や高学年だけでなく、小学校低学年から複数の学年を横断して、算数・国語・理科・社会など複数の教科にわたってICT/プログラミング教材として活用できます。先生方に特別なプログラミングスキルは不要です。教科の中の「プログラミング的思考」部分を抽出し教材化しているため、先生方にも活用しやすい内容になっています。

■特別な機材は不要

PC/タブレットがあれば、特別な機材は不要です。低価格で導入可能。また導入手順も簡単で、特別な準備もありません。

■プログラミングの課題を自分で作ることが出来る

積み木を組み立てるように、「ゴールをめざそう！」のプログラミング課題を自由に、最大50ステージ作ってプログラミングすることが出来ます。

教科学年横断

特定の教科や高学年だけでなく、小学校の低学年から複数の学年を横断して、算数・国語・理科・社会など複数の教科に渡ってICT/プログラミング教材として活用できます。



株式会社コーユービジネス

<https://www.koyu.co.jp/>

0952-73-4453

佐賀県

弊社はビジネスフォーム（コンピュータ用帳票）の製造販売を主業務として、情報処理に関する様々な事業に取り組んできました。プログラミング教育では、佐賀県初の厚生労働省認定ITマスターとして、県内の小学校に派遣され、ロボットを使ったプログラミング授業を実践しています。